

第25回防衛問題セミナー

テーマ：海の向こうにある脅威 ～日本を取り巻く安全保障環境と自衛隊～

北海道防衛局は、平成25年11月3日（日）に留萌市及び自衛隊協力会の後援を得て、留萌市文化センターにおいて「海の向こうにある脅威 ～日本を取り巻く安全保障環境と自衛隊～」をテーマに、防衛問題セミナーを開催しました。

今回の防衛問題セミナーは、一層厳しさを増しているわが国周辺の安全保障環境を背景に、東アジア情勢を捉える視点を養うとともに、武力攻撃事態に対する自衛隊の平素からの備えについて御理解をいただくことを目的として開催したものです。

冒頭、北海道防衛局長島川正樹の挨拶に続き、後援者である留萌市の高橋定敏市長から国家安全保障が最重要課題であり、開催地となったことに対して感謝の気持ちを述べる挨拶が行われました。

講演は、①防衛大学校 人文社会科学群国際関係学科 村井友秀 教授から「日本を取り巻く安全保障環境」と題して、国際情勢を考える際のツールとなる共通認識、国家間の緊張状態における国際関係の理論などについて分かりやすく説明していただき、続いて、②陸上自衛隊 第26普通科連隊長兼留萌駐屯地司令 山内克己 1等陸佐から「武力攻撃事態と自衛隊」と題して、現在の陸上自衛隊の配置、展開、各種事態における迅速かつ的確な対処活動、将来の不確実性への対応などについて説明していただきました。

また、同時に文化センター内において、留萌駐屯地の協力により昨年、留萌管内の羽幌町において行われた「国民保護における住民搬送訓練」の様子のパネルと、当局による「平成25年版 防衛白書」の概要を示したパネルの展示を行いました。

会場には、地元留萌市のほか近隣市町村から360名を超える方々が来場され、「戦争が起こるメカニズムと外交についてよく理解できた。」「守ってくださる方々がいるから平和が保たれると感じさせられた。」などの声が寄せられました。

主催者・後援者挨拶



島川正樹
北海道防衛局長



高橋定敏
留萌市長



防衛問題セミナー会場

講演の様子



防衛大学校村井 教授



陸上自衛隊 第26普通科連隊長兼留萌駐屯地司令
山内克己 1等陸佐

パネル展示会場

